

雜 錄

大東亞戰爭日記摘要	185
新刊雜誌記載參考記事目次	185

特許抄録	187
業界雜報	191

大東亞戰爭日記摘要

- 12月12日 陛下親しく受受大神宮及び皇大神宮に御拜あらせられ、戦勝を御祈願あらせ給ふ。
- 12月21日 汪精衛主席來訪、東條首相始め要路と懇談、征戰完遂へ日華提携愈々同生共死を強化す。
- 12月15日正午 大本營發表 緬甸方面陸軍航空部隊は12月5日及び10日英領印度「チッタゴン」港を攻撃し、イ、飛行機撃墜10機(内不確實なるもの3機)ロ、船舶撃沈7隻、大中破10隻、炎上4~5隻ハ、陸上施設停車場及び埠頭、倉庫に直撃弾8、列車炎上1、の大なる損害を與へた、我方の損害未だ歸還せざる飛行機2機。
- 12月15日 天皇陛下には今般産業經濟代表者懇談會に出席の首相以下政府代表者並に全國の各産業、經濟、金融の代表者385名を宮中に召され列立拜謁の光榮に浴せしめられた。
- 12月15日 午後3時30分大本營發表、ニウギニヤ島方面帝國海軍航空部隊は11月24日以来12月8日迄に同島東部ブナ附近に於て敵機44を撃墜し、敵哨戒艇2隻及輸送船2隻を撃沈した、此の間我方の自爆又は未歸還機9機。
- 12月28日 午後5時大本營發表 帝國海軍戦闘機隊は12月23日ガダルカナル島方面より飛來せる敵20數機をニウジョニア島ムンダ上空に邀撃その14機(内不確實6機)を撃墜せり、——グラマン戦闘機6(内不確實2)、カーチス艦上爆撃機7機(内不確實4)、P-381機。
- 本航空戦に於ける我方の損害自爆又は未歸還機2機。

昭和18年

- 1月12日 午後5時大本營發表 帝國陸軍航空部隊は南太平洋方面に於て優勢なる敵と交戦しつゝ我地上作戦及び海上輸送に協力中なり、昨年12月末より現在までの戦果次の如し。
- (1) 敵飛行機に與へたる損害 撃墜34、地上撃破3。
- (2) 我方の損害 自爆及び未だ歸還せざるもの10。

新刊雜誌記載參考記事主題

日滿支石炭時報 第31號 昭和17年11月	
戦時下の比律賓に於ける工業燃料	溪 崎 生 18
西支那六省の石炭	北京地質調査所 22
日本鑛業會誌 第58卷第692號 昭和17年12月	
銅製鍊鋳の利用更生に就て	伊藤茂太郎 791
鐵鋼と稀有金屬元素	谷村 潔 791
全ハガネ商聯盟 第5卷第1號 昭和18年1月	
特殊鋼統制の回顧と展望	山田 滿 2
特殊鋼業充實に朝野の猛省を促す	渡邊 三郎 4
米國鐵鋼業の解剖	大賀與志次 14
英領各地の鐵鋼事情	和田 友藏 22

七尾ニッケル鐵工場見學記	露 木 生 32
中島研究報告 第7卷第3號	
中空弁用鋼の研究(第1報)	遠藤 太郎 155
金屬 第13卷第1號 昭和18年1月	
ニッケル節約鋼の各種性質の調査	關口 次郎 3
窒素を含む高クロム・マンガン鋼	下川 義雄 17
代用鋼材の實用に就て	高瀬 孝次 41
代用鋼の質量效果	66
マツダ研究時報 第17卷第12號	
鋼管磁氣探傷に關する二三の實驗	須田 春雄 674
東京工業大學々報 第11卷第8號	
磁化鐵の壓縮力	竹内 時男 267
日本化學總覽 第2集第16卷第11號 昭和17年11月	
冶金、金相學、金屬加工	1382
工業國策 第5卷第12號 昭和17年12月	
米國鐵鋼業の脆弱點を衝く	市川 弘勝 42
ワナヂウム製鍊の重要性と自給策	大河平光雄 48
燃料協會誌 第21卷第242號 昭和17年11月	
石炭の合理的使用に就ての體驗	吉崎仁三郎 1110
採鑛冶金 第20年第12報	
鐵鋼中に於ける諸元素の擴散に就て	杉本 一夫 473
神鋼 第6卷第24號 昭和17年12月	
低合金鋼の低温脆性に就て	高尾善一郎 93
	土屋 秀介
技術評論 第19卷第12號 昭和17年12月	
鐵鋼増産の基本問題 番場恒夫・海野三朗・湯川正夫	10
日立評論 第25卷第12號 昭和17年12月	
擴管作用による鋼板穿孔部の應力分布	覺前 睦夫 733
表面硬さメータに就て	小坂誠市郎 749
可鍛鑄鐵製繼手の中子砂に對する一考察	金田 宣 783
	新田 外雄
電氣製鋼 第18卷第12號	
一酸化炭素水素混合瓦斯に依る鐵鑛石の還元に就いて	吉井 周雄 441
	外村 徳三 457
	北川 良也
電氣化學 第10卷第12號	
低品位マンガノ鑛石利用に關する研究(第1,2報)	鐵合金委員會 16
技研 第2卷第6號 昭和17年11月	
ニウカレドニヤ鑛石を原料とする海綿鐵製造に關する研究	藤原唯義・根守 侃 1
低合金高張力鋼に就て	菊池 浩介 16
軸受用鋼の壓壞試験に對する材料力學的考察	柏原 方勝 27
鐵鋼中の炭素及び硫黃の同時迅速定量法	